



コトノン便り

7

言の葉 2026 年テーマ「コトをカタチへ」

2026
NO.122



言の葉の存在意義

Purpose

「リハビリテーションの力で、“その人らしさ”と“その街らしさ”を育む」



Instagram



HomePage

折り返し地点

、今年の目標達成は今何回目！？

2026年も、気づけば半分が過ぎました。今日から後半戦のスタートです。

毎年のように「あっという間ですね」という言葉が耳にしますが、同じ

言葉が交わされること自体、季節の移り変わりを感じられる、どこか微笑ましい瞬間でもありません。

そんな感傷に浸るのも良いですが、事業を運営する立場としては、このタイミングこそ立ち止まって振り返り、後半に向けて軌道修正をする大切な時期だと考えています。

今年、言の葉全体で掲げたテーマは「コトをカタチへ」です。ご利用者さんやご家族が「やってみたい」「実現したい」

と思っているコトを、一つでも多くカタチにする。そのためにスタッフ全員で力を合わせて取り組んできました。

すでに実現できたこともあれば、これから実現へ向かうものもあります。

例えば「デイサービス言の葉」は、9月に開催される「失語症全国大会」佐賀へ1泊2日で参加する企画を進めています。これまでは日帰り旅行でしたが、今年は一歩踏み出して宿泊旅行にチャレンジします。これも「コトをカタチへ」の一つです。

また、この言葉は利用者さんだけではありません。スタッフ一人ひとりが「やってみたい」と思うことを実現できる組織づくりに力を入れています。



そのために、現在は様々な仕組みや制度を整えることに取り組んでおり、私自身の役割も少しずつ変わってきました。

制度設計は簡単ではありませんが、未来の言の葉を支える土台として、一つひとつ丁寧に積み上げていきたいと思っています。

そして、私個人が今年掲げた漢字一文字は「結」です。「結果を出す一年にする」という決意を込めました。

会社としては、3事業所が一つのチームとしてさらに結束できる準備を進めること。

家庭では、長男は高校ラグビーで花園優勝を、次男は中学ラグビーで全国大会出場を目標に努力を続けています。

それぞれが積み重ねてきた努力が「結実」する一年になることを願いながら、私自身も後半戦をさらに加速していきます。

さて、皆さんが年初に立てた目標は、今どのあたりまで進んでいるでしょうか。

「まだ2回目」「もう7回目」「少し寄り道をしてしまった」など、それぞれの現在地があると思います。

大切なのは、折り返し地点で現在地を確認し、残り半年をどう歩むかを考えること。

2026年後半も、一歩ずつ「コトをカタチへ」変えながら、皆さんと一緒に歩んでいきたいと思っています。



中村 太一
代表取締役 言語聴覚士

言の葉の誓い Statement

1. 「らしさを広げる」

私たちは、「あなたらしさ・私らしさ・私たちらしさ」を大切にし、共に広げていきます。

コミュニケーションデイサービス 言の葉

学会報告と デイサービスの支援の考え方

令和8年6月26～27日に「第27回日本言語聴覚学会in広島」開催されました。学会の中のパネルディスカッション「起業から見えたこと～起業した言語聴覚士が支える地域生活～」で中村STが言の葉の取り組みを紹介しました。

また、一般演題では、鶴岡STがデイサービスの取り組みを発表しました。

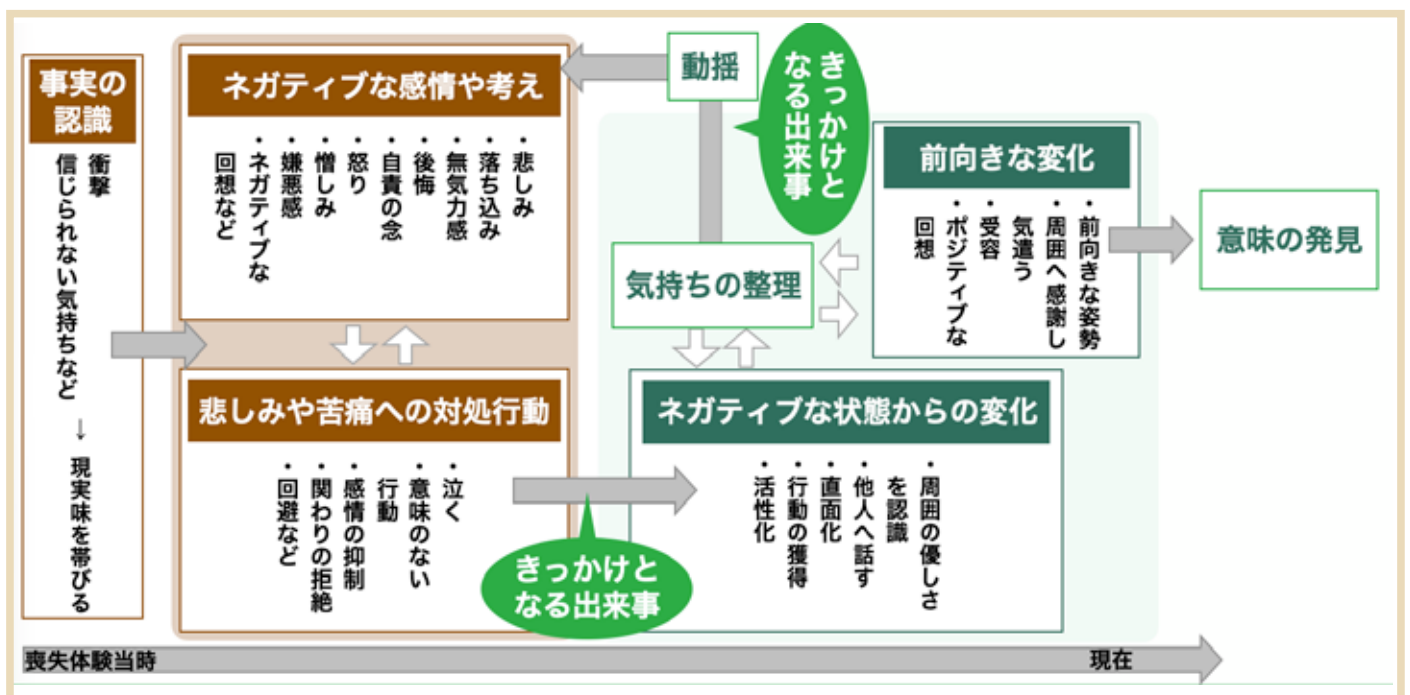
今回は、鶴岡STの発表でまとめた障害のある方の心の変化とそれを支援する支援者の考え方を紹介します。



喪失体験からの回復過程における認知と対処行動の変化

【武井優子 嶋田洋徳 鈴木伸一：喪失体験からの回復過程における認知と対処行動の変化】を一部改変

前向きとネガティブが交差していく過程 (1歩進んで2歩下がる)



障害を負って元気のない状況

少しずつ前向きになっていく過程

言の葉の誓い Statement

2.「食と会話でつながる」

私たちは、コミュニケーションと食をテーマに、人と人のつながりを生み出します。

デイサービスでは、仲間づくりのリハビリテーションとして、①自己開示できる機会、②類似性に触れる機会、③役割（存在・行動）を感じられる機会を設けており、それらに触れることがきっかけとなり、少しずつ前向きな変化が生まれてきます。

ただ、1歩進んで2歩下がるように、良いことばかりではなく、むしろ障害の苦しさで後退する時もあります。それでも、そこに仲間がいることで、かならず「きっかけ」があり前向きな変化が生まれていきます。

そして、失語症や言語障害など障害を持って生きる意味（アイデンティティ）を感じていく・整理していく・発見していくことにつながっていきます。

訪問看護ステーション 言の葉

令和8年6月20
（21日）に日本老年
看護学会第31回学
術集会が別府市で
開催されました。学
会の中のシンポジウ
ム「食べる力を支え
る力〜多職種でつな
ぐ食の支援〜」で訪
問看護ステーション
言の葉の取り組みを
紹介しました。
今回は、言の葉の
多職種連携の考え
方・仕組みの一部を
紹介します。

食支援の取り組み



13:30~15:00
(第1会場) レセプションホール

シンポジウム3: 食べる力を支える力に: 多職種でつなぐ食の支援

座長: 山田 律子 (北海道医療大学)
山本 恵子 (九州看護福祉大学)

演者: 高畠 英昭 (長崎大学病院リハビリテーション科)
加藤 節子 (一般社団法人にぬふあ星)
嶋津さゆり (熊本リハビリテーション病院栄養管理部/サルコペニア栄養支援センター)

中村 太一 (訪問看護ステーション言の葉)

言の葉 食支援 10ヶ条

- 第1条 最期まで美味しく、安全に口から食べることを推進しよう
- 第2条 食べるために必要な、口腔機能・嚥下機能を向上させるプログラムを提案しよう
- 第3条 食べる姿勢や食具などその人に適した食事環境を調整しよう
- 第4条 調理方法や食事方法、介助方法などその人らしい食のあり方を提案しよう
- 第5条 誤嚥性肺炎や歯科疾患の予防に向け、口腔ケアや歯科受診など口腔衛生管理に努めよう
- 第6条 適切な食事形態の提供と開発に努めよう
- 第7条 栄養状態の評価を行い、全身状態の改善や健康増進を推進しよう
- 第8条 再発予防や基礎疾患に対する食教育（口腔・栄養・嚥下）を行おう
- 第9条 食に関する多職種・多機関とのネットワークを構築しよう
- 第10条 共に食事を共有、味を共有する楽しみ、仲間づくりに努めよう

言の葉の誓い Statement

3. 「人と街を信じる」

私たちは、その人の力を信じ、その街の力を信じ、リハビリテーションの視点から新しい可能性を共に開きます。

言の葉 多職種連携の構造と仕組み

事業所内連携

仕組み

- 複数担当制：担当者や単一職種のための視点に偏らず、スタッフ全員で支援するための仕組み
- ケースカンファレンス：じっくりとスタッフ全員で利用者さんの支援を考える仕組み
- 目標管理ミーティング：迅速に利用者さんの目標を共有し update する仕組み

ツール

- グループウェア：いつでも・どこでも情報共有・ケース検討できるツール
- 各種マニュアル：どのスタッフでも根拠に基づく支援を提供し成果を出ることができるツール
- アナログツール：スタッフの想いが整う・揃うためのツール

変化の共有

食の可能性 & リスク管理

利用者さんの前向きな変化をタイムリーに多職種・多機関で共有。
3 歩手前から先手先手のリスク管理ができる情報共有できるネットワーク。

なりやす歯科医院との連携

専門的介入

自宅で専門的な嚥下評価（嚥下内視鏡検査）が行える仕組み

黒岩恭子歯科医師の外部指導

黒岩メソッドの実践に向け、黒岩歯科医師からの直接的指導・助言をいただく訪問ラウンド



嚥下内視鏡検査



黒岩先生の訪問ラウンド

元気サポート富士見が丘（サポふじ）

さくらクリニック・ふじわら歯科・植田西包括支援センター・訪問看護ステーションハンズと毎月の定例会や健康増進に向けたイベント開催

地域連携

大分県言語聴覚士協会や大分県訪問看護ステーション協議会との連携
定期的な会議への参加や研修会の開催など

富士見が丘商店会や自治会、民生委員とのつながり

お祭りへの参加や合同の会議など



サポふじ活動



サポふじ活動

今までの5年間で積み上げてきたコトを少しずつカタチとして整理しています。
まだまだ、整理段階ですが、食支援に対する言の葉の考え方や仕組みをこれからもお伝えしていきます。



言の葉が目指す未来 Vision

「障害のある人もない人も皆が支え合い、豊かに暮らせる街を育む」

言の葉きっず

言の葉きっず

素敵な瞬間♪

"大切"の意味



6月にきっずをご利用いただいている保護者さんが出店しているフリーマーケットに参加しました。

そこで、保護者さんが育てている多肉植物を購入し、きっずの玄関先に飾ってみました。

その際、きっずのこども達が触ってしまって落としたりしないように、注意書きとして「大切な多肉植物です。触らないでね」と掲示して置いてみました。

すると、その多肉植物と文面を見たAさんが、スタッフにこう尋ねました。「大切ってどういう意味？」

スタッフは「丁寧に使ったり、大事と同じ意味だよ」と説明し、Aさんに「Aさんの大切なものって何？」と聞くと「ママ」と答えてくれました。

こども達の純粋で飾りのない疑問を持っていること、意味を聞いて連想された答え、人とのコミュニケーションを通して学んでいく姿がとても素敵な瞬間でした。

言の葉きっずでは、こういったこども達の素朴な疑問にも耳を傾け、一人ひとりのこども達がわかりやすい言葉で、環境を整えながら、時には一緒に学びながら成長を支えていきたいと思います。



言の葉が果たす役割 Mission

全世代の人生に寄り添うリハビリテーション

「こどもから高齢者まで全世代に、生活を創造する真のリハビリテーションサービスを提供し、その人の人生を共に歩みます」

危険予測・発見活動（KY 活動）

テーマ：雨の日の危険危険

6月の危険予測・発見活動（KY活動）は、「雨の日の危険」です。

こども達に雨の日の危険が隠れたプリントを渡し、危険な箇所に丸をしてもらいました。そして、見つけた後には「どこが」「どのように」「どうすれば良いか」を発表してもらいました。

こども達はとても意欲的で、大人でも気づけなかった危険な箇所を見つけたり、お友達と「ここも危ないよね」と相談しながら取り組んでくれました。

こども達はこんな危険な箇所に気づいてくれました

①（雨の日は）川には近づかない！

理由→「溺れちゃう」「流されちゃう」

②傘で戦いごっこをしない

理由→「危ない」「目に刺さる」

③道路に出ない

理由→「車は雨で見えないから轢かれる」



他にもたくさんの危険を見つけてくれていました。

こういった活動を通して、日々の「危険」学びながらこども達が「安心で」「安全な」生活を送ることができるよう支えていきたいと思います。

令和7年度きっず実績報告会

6月10日と6月24日に「令和7年度きっず実績報告会」を開催しました。2事業所のスタッフの方5名と地域の方1名が参加してくれました。

事業所の方とは、こども達の支援のあり方についての情報交換も行いました。

地域の方は、お子さんが言語聴覚士など医療従事者を目指しており、きっずの取り組みや言語聴覚士について質問や相談をしていただきました。

これからも、いろんなイベントを企画しながら地域に開いた事業所を目指していきます。



言の葉が大切にする価値 Value

1.Mind いつも笑顔で真心を届ける



珈琲飲み隊 コトレンジャー



1号 コトグレン



2号 コトキチ



3号 コトミツ



4号 コトハ



5号 コトノン



6号 コトリーナ



7号 ごんそう



8号 コトコ



FAX : 097-509-1320

Mail : kotonoha@habisapo.jp

QR コード



Instagram



公式 LINE



注文先 ご注文やお問合せは FAX、Mail、QR コード、DM、公式ラインなどからお受けしています。

大分市内の方は配達にてお届けします

	豆 200g 1,300 円 (税込)	粉 200g 1,300 円 (税込)	ドリップバッグ 10g 250 円 (税込)	氏名	
1号 コトグレン	個	個	個	住所	
2号 コトキチ	個	個	個		
3号 コトミツ	個	個	個		
4号 コトハ	個	個	個	電話番号	
5号 コトノン	個	個	個		
6号 コトリーナ	個	個	個		
7号 ごんそう	個	個	個	メール	
8号 コトコ	個	個	個		

失語症就労支援 言の葉 SHOP

言の葉が大切にしている価値 Value

2. Professional 準備と努力を怠らない

言の葉作品展



言の葉が大切にする価値 Value
3.One Team 一致団結して前進する

Jun's Essay No.64

幸福寿命（2） ～大切にしたい幸福寿命～

「前号では、幸福寿命とは、言葉の通り、人が「幸福」と感じている期間のことで、健康寿命よりも大切な概念ではないかと述べました。今号も引き続き幸福寿命について考えてみようと思います。

以前、このシリーズで「メモント・モリ（死を忘れるな）」について触れました。簡単に言うくと、死をタブー視せず、いつか訪れる死を意識することで、日々の時間を大切に生きようとする姿勢のことです。つまり、よく死ぬことはよく生きること、より幸福に生きることには尽きると、私は思います。

幸福寿命は二つあります。一つは、高揚感を伴う一時的で刺激の強い幸福（ヘドニア的幸福）と、もう一つは、心の平穏と充実感のある、刺激はそれほど強くない幸福（ユーダイモニア幸福）があります。幸福寿命とは、両方の幸福感を

バランスよく持ち続けることができる人生の期間と言えるでしょう。今の日本社会は、SNSでの「いいね」や、過剰な消費など、刺激の強い幸福感を追求したり提供したりする機会がほとんどです。二つの幸福のバランスがよくありません。幸福寿命をのぼすためには、平穏と充実感のある幸福が必要ではないでしょうか。だからと言って、刺激的な幸福感をなくす必要はなく、上手に減らしてうまく味わうことがポイントでしょう。また、平穏な幸福には、高揚感や強い刺激がありません。目立つ強い感情ではないため、意図的に意識を向けないと気づくことができません。しかし、それに気づくことができれば、持続的に幸福を感じることができるので、幸福寿命をのぼすことができるのです。

幸福寿命をのぼすには、苦労や挫折の経験は不要で



すし、過度な努力や忍耐も不要です。また、例えば大会で優勝したり、出世して社長になったりするなど劇的な成功をしなくても、幸福寿命をのぼすことは可能です。相田みつお氏は「しあわせはいつも自分のこころがきめる」と。自分が健康であるかどうかに関わらず、現実のさまざまな多様性を受け入れ、思いやりの心を持つことが、人生の質を高め、幸福寿命を延ばすことだと思います。

今が幸せと考える感受性を磨きたいものです。さて、散歩に行きますか。



森 淳一
言語聴覚士

大分県の言語聴覚士の第一人者（第3代大分県言語聴覚士協会会長 H19～H23）。

湯布院厚生年金病院リハ副部長、大分リハビリテーション病院リハ部長を歴任。現在も日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員、大分オールリハビリテーション研究会代表等を務める。趣味は音楽、パソコン、映画鑑賞、お酒などなど。

言の葉が大切にする価値 Value

4.Community 地域の一員としてつながる

健康お役立ち情報 ～加齢性難聴について～

今月は、**加齢性難聴**について紹介
します。

加齢性難聴とは、**加齢に伴って
徐々に聴力が低下する現象**です。一
般的に40代ごろから高音域から聴
こえにくくなり始め、65歳以上の
高齢者が増えていきます。

単に音が小さく聞こえるだけでな
く、「**言葉の聞き取りにくさ**」を伴
うのが特徴です。

難聴とは、聞こえづらい状態を言
います。

難聴の種類は、外耳から中耳の問
題である**伝音性難聴**。内耳・蝸牛神
経・脳の問題である**感音性難聴**。伝
音性難聴と感音性難聴が合併した**混
合性難聴**があります。

加齢性難聴は、**感音性難聴**にな
ります。

伝音性難聴の主な特徴は、音が全
体的に小さくもって聞こえること
です。そのため、音を大きくすれば
言葉を聞き取れることが多く、治療
や手術で改善・完治する可能性も高

いです。

一方、**感音性難聴**は、全体的に音
が小さく聴こえたり、音に歪みが生
じたり、聴こえ方が不明瞭になるこ
とが多いといわれています。

そのため、**単に大きな声で話し
けるだけでは聴こえやすさが向上す
るわけではありません。**

難聴の高齢者との会話場面では、
高齢者の耳元で大きな声で話しかけ
る場面が浮かんできると思います。
しかし、高齢者は**感音性難聴**である
ことが多く、実は適切な方法でない
ことが少なくないのです。

その人の耳の聞こえの状態にあっ
た補聴器を使用し、音の聞き分けが
行いやすい環境を作ることが大切に
なります。また、話し手は、大きな
声でなく、その人が聞き取りやすい
音の大きさを保ち、短くわかりやす
く伝える、身振り手振りを加えるな
どのコミュニケーション方法が有効
となります。

次号以降では、コミュニケーション

ン方法や補聴器についての情報をお
伝えしていきますのでお楽しみに。
耳の聴こえに不安がある方は、お
気軽にご相談ください。

感音性難聴

言葉として
理解できない

今日は何のご
用ですか？

きょう◎の\$#
○で&%#？

何度も聞くと
悪いなあ



伝音性難聴

声が小さいなあ

今日は何のご用ですか？

今日は何のご用ですか？

なんとか
理解できた

感音性難聴は言葉として認識できない＝「大きな声では改善しない」**言の葉**

言の葉が大切にする価値 Value

5.Challenge 挑戦の一步を踏み出す

米米月記（衛藤農家さんのお米づくり）



5月に田植えした稲はすくすくと育っているようです。 デイサービスのプール田んぼも順調です。
7月には田んぼの草取りにうかがう予定です。

言の葉間違い探し



間違い5つ見つけられましたか？
正解は、こちらから確認してね。↓

